

(2) 社 会

観 点 ・ 小 問 ご と の 分 析	対 策 の 視 点
<p>① 知識・理解</p> <p>1. 新潟平野・宮崎平野・静岡県・北海道の農業の様子 新潟平野の正答率は74%、北海道の正答率は82%である。 宮崎平野・静岡県の誤答として岡山平野を選んだ例が目だつ。 暖かい地方の果物であるみかんの産地と関連させて、宮崎平野を選んだ誤答がみられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 我が国の農業について、農業の盛んな地域の具体的事例を取り上げ、人々が自然条件を生かしながら技術の改良、経営の改善などに努めていることを把握させることが大切である。 ◦ 府県の名称、位置を定着させるには、白地図の上での反復練習が必要である。
<p>2. 我が国のおもな山地・山脈、河川の名称と位置 奥羽山脈の正答率が83%、中国山地が74%でともに高い。川の位置を問う問題では、総じて山地・山脈の場合より正答率が低い。 日高山脈を北上山地と答えた誤答が目だつ。 信濃川を利根川・北上川、利根川を天竜川・信濃川、筑後川を天竜川・淀川と答えた誤答が目だつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 白地図におもな山地・山脈・平地、河川を記入させるなど、作業学習を取り入れて知識の定着を図ることが大切である。 ◦ 土地の様子を写真・地形図・立体模型図などを活用して理解させ、その際、学習素材としての地名をおぼえさせるための反復練習の機会を持たせたい。 ◦ テレビ等を見ている場合でも、山地・山脈や河川の名前が出てきたら、すぐ地図帳で調べる習慣を身につけさせたい。
<p>3. 我が国のおもな工業地帯・工業地域の位置と特色 瀬戸内工業地域の正答率が21%と低く、誤答例は北陸工業地域・北九州工業地帯が多い。 京浜工業地帯の正答率は39%で、誤答例は京葉工業地域、阪神・中京工業地帯である。 北陸工業地域の正答率は62%で、誤答例は北九州工業地帯・瀬戸内工業地域などである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 工業が盛んな地域の具体例を通して、工業生産の特色を理解させ、歴史的背景・生産額の割合などを比較しながら、その全体像を把握させる必要がある。 ◦ 工業が盛んな地域の写真・地図、統計などの活用を図り、学習内容をより具体化させることが大切である。 ◦ 問題文を正しく読み、その中に出ている条件を考えて正しく答える習慣を身につけさせたい。